

講義名	中国語グローバル基礎/グローバル基礎 B			授業形態	
担当教員	関 梅	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

### 主題と概要

この授業はグローバル・スタディーズ・プログラム(GSP)の学生を対象とした「中国語A・B(グローバル)」の続きの科目です。一年次で習った内容についての習得状況を確認しながら、その上でレベルアップを図って授業を進めていきます。また、「読む・書く・話す・聞く」の4技能に力をつけていきながら、中国語検定4級レベルの達成を目指します。ハードな授業になることが予想されますが、受講者の可能性を最大限に伸ばし、「日本中国語検定試験」4級試験に合格することが、この授業の主な目標です。

### 到達目標

中国語検定4級に合格できます。  
 4 技能に関する到達目標  
 聞く：日常会話の内容を聞いて分かるようになる  
 話す：日常会話の質問と答えができるようになる  
 読む：300字程度の中国語の内容を理解することができるようになる  
 書く：平易な作文ができ、内容の豊かな自己紹介文を書くことができるようになる

### 提出課題

毎回の授業では、学習内容の理解状況を確認するため、トレーニング用のプリントの提出をしてもらい、次回にフィードバックを行います。また、毎週宿題のプリントも配布します。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

前回の提出物の結果を講評してから理解の不充分のところを復習します。

### 評価の基準

本講義の評価基準は毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。  
 具体的な割合は：  
 平常点（授業中の受講態度、課題の提出、小テスト）20％  
 中間テスト30％、期末試験50％  
 原則として授業に5回の欠席以上の場合は失格とします。  
 以上の記載については初回の講義の際に、教室で詳しい説明を行います。  
 原則として5回欠席の場合は失格とします。

### 履修にあたっての注意・助言他

語学の授業は実践的なものなので、声を出すことをいとわず、活発な取り組みを期待します。授業中の積極的な態度は大いに評価し、春休みの課題や毎回授業の宿題の提出状況も評価の対象となりますので注意してください。

### 教科書

.教科書を使用しない。

### 参考図書

.なし。

### その他

### 授業計画

- 第13課 チケットを買う  
 予備内容：単語を学習すること、「ポイント」の文法を理解し、質問についてメモすること、本文の意味を理解すること (120分)  
 復習内容：文法の課題プリントを完成すること、単語の復習をすること、本文の音読をすること (120分)
- 第13課 チケットを買う  
 予備内容：単語の発音、書き方をマスターすること、「今日のまとめ」1・4完成すること (120分)  
 復習内容：単語の復習をすること、本文の暗記をすること、総合課題プリントを完成すること (120分)
- 第14課 進業向をする  
 予備内容：単語を学習すること、「ポイント」の文法を理解し、質問についてメモすること、本文の意味を理解すること (120分)  
 復習内容：文法の課題プリントを完成すること、単語の復習をすること、本文の音読をすること (120分)
- 第14課 進業向をする  
 予備内容：単語の発音、書き方をマスターすること、「今日のまとめ」1・4完成すること (120分)  
 復習内容：単語の復習をすること、本文の暗記をすること、総合課題プリントを完成すること (120分)
- 第15課 チェックインをする  
 予備内容：単語を学習すること、「ポイント」の文法を理解し、質問についてメモすること、本文の意味を理解すること (120分)  
 復習内容：文法の課題プリントを完成すること、単語の復習をすること、本文の音読をすること (120分)
- 第15課 チェックインをする  
 予備内容：単語の発音、書き方をマスターすること、「今日のまとめ」1・4完成すること (120分)  
 復習内容：単語の復習をすること、本文の暗記をすること、総合課題プリントを完成すること (120分)
- 第16課 所要時間を知る  
 予備内容：単語を学習すること、「ポイント」の文法を理解し、質問についてメモすること、本文の意味を理解すること (120分)  
 復習内容：文法の課題プリントを完成すること、単語の復習をすること、本文の音読をすること (120分)
- 第16課 所要時間を知る  
 予備内容：単語の発音、書き方をマスターすること、「今日のまとめ」1・4完成すること (120分)  
 復習内容：単語の復習をすること、本文の暗記をすること、総合課題プリントを完成すること (120分)
- 第17課 演習をする  
 予備内容：単語を学習すること、「ポイント」の文法を理解し、質問についてメモすること、本文の意味を理解すること (120分)  
 復習内容：文法の課題プリントを完成すること、単語の復習をすること、本文の音読をすること (120分)
- 第17課 演習をする  
 予備内容：単語の発音、書き方をマスターすること、「今日のまとめ」1・4完成すること (120分)  
 復習内容：単語の復習をすること、本文の暗記をすること、総合課題プリントを完成すること (120分)
- 第18課 雑談をする  
 予備内容：単語を学習すること、「ポイント」の文法を理解し、質問についてメモすること、本文の意味を理解すること (120分)  
 復習内容：文法の課題プリントを完成すること、単語の復習をすること、本文の音読をすること (120分)
- 第18課 雑談をする  
 予備内容：単語の発音、書き方をマスターすること、「今日のまとめ」1・4完成すること (120分)  
 復習内容：単語の復習をすること、本文の暗記をすること、総合課題プリントを完成すること (120分)
- 第19課 雑談をする  
 予備内容：単語を学習すること、「ポイント」の文法を理解し、質問についてメモすること、本文の意味を理解すること (120分)  
 復習内容：文法の課題プリントを完成すること、単語の復習をすること、本文の音読をすること (120分)
- 第19課 雑談をする  
 予備内容：単語の発音、書き方をマスターすること、「今日のまとめ」1・4完成すること (120分)  
 復習内容：単語の復習をすること、本文の暗記をすること、総合課題プリントを完成すること (120分)
- 第20課 雑談をする  
 予備内容：単語を学習すること、「ポイント」の文法を理解し、質問についてメモすること、本文の意味を理解すること (120分)  
 復習内容：文法の課題プリントを完成すること、単語の復習をすること、本文の音読をすること (120分)

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/>	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/>	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	<input type="radio"/>	

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」、資質・能力を育み、専攻学生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し「コミュニケーション能力」の育成を目指す。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

本講義では基本的にICT活用をし、教室に備えているプロジェクターを使用し、音声はiPadとコードレススピーカーを使用します。文法説明や課題の答え合わせなどについてはすべてiPadやプロジェクターで行います。また、QuizletやKahootなどのアプリケーションを利用して検定問題の単語及び文法についての習得状況の確認を行います。

### 実務経験の有無及び活用

### 備考